

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	建築学基礎演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0164			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	特に教科書はなく、補助教材・適宜プリント等の資料を使用する。						
担当教員	下村 波基						
到達目標							
1 計画・設計分野の理解が深まる 2 構造分野の理解が深まる 3 環境分野の理解が深まる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1 計画・設計分野の理解が深まる	設計・計画分野において、成果物が完成(8割以上)している。			設計・計画分野において、成果物がほぼ完成(6割以上)している。		設計・計画分野において、成果物が完成していない。	
2 構造分野の理解が深まる	構造分野において、課題が完成(8割以上)している。			構造分野において、課題がほぼ完成(6割以上)している		構造分野において、課題が完成していない。	
3 環境分野の理解が深まる	環境分野において、課題が完成(8割以上)している。			境分野において、課題がほぼ完成(6割以上)している。		環境分野において、課題が完成していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築学に対する留学生の理解を深める効果をもつ。建築学基礎演習Iから継続して、建築の3つの分野である、構造・環境・計画(設計製図を含む)の授業内容に関する補助教材を用意し、説明とその演習により学修の深度を深める。						
授業の進め方・方法	同級生と一緒に受講している講義と平行してこの科目の講義/ 演習は進めていく。						
注意点	担当教員の指示を受け、計画的に進めること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	前期の授業進め方の説明と検討(下村)				
		2週	建築計画に関する演習-1(櫻木)				
		3週	計製図に関する演習-1(清水)				
		4週	域都市計画に関する演習-1(鶴田)				
		5週	建築計画に関する演習-2(櫻木)				
		6週	デジタルデザインに関する演習-1(今田)				
		7週	設計製図に関する演習-2(清水)				
		8週	インテリア設計に関する演習-1(中谷)				
	2ndQ	9週	構造力学に関する演習-1(柴田)				
		10週	鉄骨構造に関する演習-1(下村)				
		11週	RC構造に関する演習-1(犬飼)				
		12週	インテリア設計に関する演習-2(清水)				
		13週	環境工学に関する演習-1(青木)				
		14週	建築設備に関する演習-1(中谷)				
		15週	地域都市計画に関する演習-2(鶴田)				
		16週					
後期	3rdQ	1週	後期の授業進め方の説明と検討(下村)				
		2週	情報処理に関する演習-1(柴田)				
		3週	環境工学に関する演習-1(青木)				
		4週	設計製図に関する演習-1(鶴田)				
		5週	建築材料に関する演習-1(犬飼)				
		6週	建築設備に関する演習-1(中谷)				
		7週	建築計画に関する演習-1(櫻木)				
		8週	設計製図に関する演習-2(鶴田)				
	4thQ	9週	情報処理に関する演習-2(柴田)				
		10週	鉄骨構造に関する演習-1(柴田)				
		11週	RC構造に関する演習-1(犬飼)				
		12週	構造力学に関する演習-1(柴田)				
		13週	建築計画に関する演習-2(櫻木)				
		14週	構造力学に関する演習-2(柴田)				
		15週	技術者倫理に関する演習(下村)				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポートなど	合計

総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	50	50
専門的能力	0	0	0	0	0	50	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0